

2階クラスの様子

2階クラスでの生活は、子どもたちが主体となって行っています。園で生活する中で、子どもたちは自分でしたいことを見つけ、意欲的に活動していきます。初めてすることがある時は、保育士が子どもの発達段階に合わせ、手本として動きを静かに見せます。子どもたちはその動きを真似して繰り返し練習していくことで、吸収し身につけていきます。

日々、園ではこんなことも…

[クラスの人数分の皿を数える]

食事の準備のために、子どもが皿を数えます。保育士から今日のクラスの人数を聞き、自分で数えます。数えることが難しい子は、保育士と一緒に数えたり、「5のかたまりを5個」など、その子の数えられる数を使ったりしています。



[ぬか漬けの野菜を包丁で切る]

給食の際に食べられるように、ぬか漬けの野菜を包丁で切り、3クラス分に分けます。子どもによって切る大きさは大小さまざまです。中には切った野菜を味見として食べる子もいます。



大人は子どものやりたい気持ちを大切にし、選択した活動を見守り、危ないところや困難点があるところはサポートしていきます。

ここがポイント！

子どもたちが「手伝って」と助けを求めた時がサポートに入るタイミングです。

子どもたちは自分でできたという達成感を感じることで、目をとてもキラキラさせ、自信を持つようになっていきます。

おうちでも、子どもがお手伝いしたいと言う際には、ぜひともお願ひしてみてはいかがでしょうか。目を輝かせながら引き受けてくれますよ。